

日本共産党 暮らしの底上げはかる 区議団 8つの条例案を提案!!

共産党区議団提出の条例案と予算額

提案条例	内容	予算
就学援助条例	生活保護基準の1.2倍を1.5倍に緩和など	1億1,900万円
小中学校入学祝金交付条例	入学時小2万、中3万円支給	7,800万円
子ども医療費助成条例一部改正	18才まで医療費無料化へ	5,050万円
奨学資金貸付条例の一部改正	成績要件、保証人要件の緩和	380万円
高齢者入浴事業の実施条例	「ふるわり200」を1回100円、週2回へ拡大	1億560万円
シルバーパス費用負担額助成条例	費用負担が20,510円の方に15,000円を助成など	1,470万円
介護保険料負担軽減条例	低所得者の保険料軽減のため助成	1億5,300万円
住宅リフォーム促進、区内業者仕事拡大条例	区内事業者によるリフォームに補助支給	2,000万円
合計		5億4,000万円

(注) 就学援助条例、子ども医療費助成、就学資金貸付、ふるわり200の拡充は、増額分のみ

円(予算の約0.5%)で8本の条例案(左上一覧)を提出しました。今回シルバーパスの負担軽減助成や奨学資金貸付条例の要件緩和など新たな提案も行う予定です。見なさんのお寄せください。

2月15日から3月15日まで開会の区議会。新年度予算を審議する大事な議会です。既報のように、過去最大995億円の一般会計予算案は、総合スポーツセンターやあらかわ遊園の大規模リニューアルや新尾久図書館、児童相談所などオンラインピク2020年完成を目途にすすめるなどで額が膨らみ、そのための、共産党区議団は、予算規模で5億4千万円(予算の約0.5%)で8本の条例案(左上一覧)を提出しました。今回シルバーパスの負担軽減助成や奨学資金貸付条例の要件緩和など新たな提案も行う予定です。見なさんのお寄せください。



小林行男

日本共産党荒川区議団

区政ニュース

NO.675
2018.2.25

区議会控室

TEL 3802-4627

FAX 3806-9246

Email: arajcp@tcn-catv.

ne.jp

ホームページ

http://www.tcn-catv.ne.jp/

jp/jcpara/

東尾久相談室

東尾久2-37-3

TEL・FAX

3895-0508

奨学金制度の改善を

平均3以上の成績要件 高校進学で頑張りたいと学習意欲を持っている生徒には貸付を上げてたい。

連帯保障人：区内在住・職業を有することが条件

東京都育英資金は第一連帯保証人は父または母、日本学生機構も父母・兄弟姉妹・叔父叔母です。貸付は生徒本人です。連帯保証人も父母で良いのではないのでしょうか。

私立50万公立10万円の入学時の奨学金は返済免除規定を設けたこともあり、最終的に27人が申請。しかし成績要件で4名が不採用。また連帯保証人要件で4名が保留となっています。



区民交通傷害保険の申し込み



区民交通傷害保険は、区が窓口となり、少額の保険料で加入していただくことで、自動車、原動機付自転車、自転車などによる交通事故にあわれた場合に、入院や通院治療日数に応じて保険金をお支払いする制度です。区民交通傷害保険にご加入された方は「自転車賠償責任プラン」に加入ができます。

- [保険料] (年額) 1000円から3つのコースあり
 - [加入方法] 申し込み用紙に記入の上、保険料を支払う
 - [申込場所] 区内各金融機関、郵貯銀行(3月16日まで)
区役所3階区民課9番窓口(3月30日まで)
- 申込用紙は上記窓口、区民事務所で配布しています。
保険期間は、4月1日から翌年3月31日の1年間。

法律相談会



毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。

また、暮らし・区政などのご相談はいつでもお気軽に

3月の相談会は、
3月20日(火)

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所と連絡して、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。



これで本当に健康で文化的な生活か!?

生活保護の引き下げ案が...

安倍自民・公明政権は今年10月から3年かけ、生活保護のうち食費や光熱費など生活費にあたる「生活扶助費」を最大5%引き下げる方針です。

利用者の7割が減らされます。自公政権による2004年以降の度重なる改悪で、都市部(1級地の1)の70歳以上の単身世帯はすでに生活扶助費が2割以上減っており、今回引き下げられれば24.3%ものカットになります。日本共産党東京都議団の調べで分かりました。吉田さんの生活扶助費は03年度に月9万3850円でしたが、昨年度は月7万4630円に減っていました。家賃と医療費以外を賄います。

■自公政権が激減させた生活扶助費

(70歳以上の単身世帯、東京特別区など1級地-1、月額)

2003年度	9万3850円(老齢加算あり)
06年度	7万5770円(老齢加算廃止)
17年度	7万4630円(13年からの引き下げ後)
20年	7万1000円(今回の引き下げ後)

(日本共産党東京都議団調べ、20年は厚労省資料より)

こんなところにも影響が・・・生活保護基準は、就学援助、住民税の非課税限度額、最低賃金などの基準となり、介護保険の保険料・利用料の減免ライン、障害者福祉の利用料の減額基準、公営住宅の家賃の減免基準、国保の窓口負担の減免対象の基準など。また、未熟児への医療費補助、慢性疾患のある子どもへの日常生活養護の給付、児童入所施設の費用など。子どもの支援に関わる多くの制度も。税制や賃金、福祉施策の全面的な後退を引き起こします。

安倍内閣が保護費削減の口実にしているのは14年の「全国消費実態調査」で生活保護を利用していない「収入下位10%」の低所得者世帯の支出が減っていることです。(本来生活保護を利用できる人たちも)弱いものを追い詰める政策は、生活保護を受ける人に限らず社会みんなを追い詰めることになります。(上記の施策に影響)これこそ問題です。

生活保護引き下げで削減される国費は160億円。「思いやり予算」など米軍経費の来年度増加分、195億円をあてれば「おつり」がきます。

小泉自公政権が70歳以上の老齢加算を04年度から縮小・廃止。安倍政権が13年8月以降、生活扶助費を最大10%引き下げた結果です。

一方、消費者物価指数(総務省)の食料費は03年から17年にかけて12.7%も上昇しています。

「壊れたテレビは買い替えられません。電気こたつも壊れ、もらった電気カーペットを夜だけつけます。街灯を頼り、部屋の電灯はできるだけ使いません。洋服はもらった古着です。下着だけは2年に1回2枚400円のパンツを買いに行きます。」との声も。



災害危険度ランキング



2月15日、東京都は大地震が起きた際の地域ごとに五段階評価した「地域危険度」を公表。危険度のランクは全町丁目の中でどの程度のランクに位置しているのかを測る相対評価

となります。そのため、安全性が向上していても、他の地域の安全性がさらに向上している場合には、ランクが下がることもあります。今回も町屋4丁目1位、荒川6丁目3位など荒川、足立、墨田と密集木造市街地を多く抱えた地域に危険度が集中しています。引き続き改善に努力したい。



「仕事が一段落した」の「一段落」は「いちだんらく」が「ひとだんらく」か、「みなさんはどう読むでしょうか。文章の区切りである段落を「いちだんらく」で

「安心」「仕事」「一工夫」など多くの三字熟語「ひと」読むので、違和感なく使われるでしょう。ほとんどの国語辞典は「いちだんらく」で

「一段落」の読み方は?

「ひとだんらく」は「ひとだんらく」か、「みなさんはどう読むでしょうか。文章の区切りである段落を「いちだんらく」で「仕事が一落ちした」の「一段落」は「いちだんらく」か、「ひとだんらく」か、「みなさんはどう読むでしょうか。文章の区切りである段落を「いちだんらく」で

『「赤旗」は、言葉をどう練り上げているか』より



今年に入ってから米軍機の事故が続いています。20日には米軍三沢基地のF16戦闘機がエンジン火災を起こし、外装タンク2基を近傍の小川原湖に投棄。湖が汚染される。これらの背景に「対テロ」戦争の長期化、中国・北朝鮮の対応など任務の激化と整備能力の低下など構造的な要因が指摘されています。危険な訓練は停止すべきではないでしょうか。